

学校名	三郷市立新和小学校
所在地	三郷市中央2丁目28番地12
電話	048-952-0121

1 本校の概要

「本好きな子を育てる」をコンセプトに読書力を高め、心豊かな児童を育てることができるよう、学校図書館を学びの中心に位置づけ教育活動を行っている。1000人を超える大規模校であるが、全校で「ビブリオバトル」等新たな取組を導入しながら、読書活動を推進している。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・読書量・質の向上
- ・異学年・家族・地域での読書活動拡大



(2) 実践の概要

ア 読書意欲を高める環境づくり

- ・各学年のオープンスペースに読書コーナーを設置
- ・学校図書館コーナーの充実
 - 「校内読書標語」「家族読書の掲示」「学校図書館コーナーの展示」(小学生おすすめの本総選挙・1冊も借りられたことがない本等)
 - ・「新和ライブラリー」の発行(年7回)

イ デジ読の活用

図書館に設置したパソコンは、「ポプラディアネット」「学研ニューワイド」「朝日新聞けんさくくん」「毎日新聞毎索」の4つの検索エンジンを利用でき、高学年を中心に調べ学習に活用する習慣がついている。

ウ 読書の輪を広げる活動

- ・読み聞かせ活動
 - 児童間、教職員、保護者ボランティア、司書が実施している。「新和わくわくお話隊」は、幼稚園等で、読み手も聞き手も楽しみながら実施している。



・ビブリオバトル

小グループ→クラス→学年の順番で行い、学年代表を1名決め、「チャンプ本」として、図書コーナーに掲示している。どの学年も本に対する思いをもっと伝えたいという意欲であふれている。

・読書イベント

図書委員会は、読書ビンゴの運営等を行っている。また、全学級が、作家さんへメッセージを作成し、「オナーサービジット」へ応募している。



エ 学校図書館の活用

・授業における学校図書館の活用

学校図書館司書と連携し、授業の単元に応じたブックトーク等を行い、関連のある本を推奨している。

・比較読書や並行読書の推進

教科書に沿って本の読書会をしている。授業に合わせたブックトークや国語の読書単元の本を読み、自ら紹介し合う姿が見られるようになっている。



3 成果と今後の課題

(1) 成果

ア 読書量・レファレンス数の増加

年間貸出冊数は、11月現在 98,997冊となっており、昨年度比104%、一人当たり98冊読破し、年々図書館の利用と読書量が増加している。

イ 主体的・対話的で深い学びづくり

学校全体で連携をとりながら、環境整備や様々な読書活動を進め、学校図書館の充実を図った結果は、本に対する意欲向上とともに、全国学力学習状況調査や埼玉県学力学習状況調査において県平均×110%以上の成績を修めたことは、効果の表れである。

(2) 課題

新たに「ビブリオバトル」を導入したが、本を通しての感想等を伝え合う方法を追求し、さらなる活用を図ることである。深く、じっくりと本と向き合い、伝え合う活動を充実させることで学力向上につながることを期待している。

(3) おわりに

本を通して、児童間や教師、保護者、地域との絆が深まっている。